

# 2018 年度事業報告

	頁
《1》 総括	2 ページ
《2》 重点課題について	2 ページ
《3》 事業別事業報告	4 ページ
1. 法人本部	4 ページ
2. 沙羅の家	5 ページ
3. しいの実社	9 ページ

**2019 年 5 月 28 日**

**社会福祉法人 もえぎの会**

## 2018 年度 社会福祉法人もえぎの会 事業報告

### 《1》2018 年度総括

もえぎの会は、2018 年 3 月から沙羅の家 清水を開設し、3 ユニットのグループホーム（共同生活援助）、ショートステイ（短期入所）に加えて、目黒区から受託した地域生活支援拠点事業の運営を開始した。グループホームの入居を進めており、2019 年度上半期に完了する予定である。地域生活支援拠点については、目黒区、及び関係する事業者、団体と連携して一步一步実績を積み重ねてきた。

しいの実社は、サービスの質の安定のためにマニュアルの整備を進めた。また、働きやすい職場環境を整え、支援力の向上に注力できるように進めた。

事業拡大に伴い、法人本部の強化、運営体制の改善を進め、組織の安定を図った。

### 《2》 2018 年度重点課題について

#### (1) 組織の安定

- ① 法人本部の強化がされ、運営体制が改善された。
- ② 業務の整理を行い、業務分担を明確にした。
- ③ 幹部スタッフの運営力が向上している。更に向上し安定運営を目指す。
- ④ 幹部スタッフのマネジメント力は向上しているが、人材育成は、長期的な重要課題である。
- ⑤ 事務処理の整備を進めた。システム化、マニュアル化の整備を進めた。
- ⑥ 中堅スタッフは、自覚をもって業務に取り組めるように育成に取り組んだ。
- ⑦ 働きやすい職場となるように改善を進めており、スタッフが定着してきている。

#### (2) 事業展開

新規事業として沙羅の家 清水を開設し、3 ユニットのグループホーム、ショートステイに加えて、目黒区から受託する地域生活支援拠点事業の運営を開始した。

下記は、中長期計画に基づいた事業展開である。

- ① 高齢者向け日中の場の実現  
自立支援協議会の高齢部会長を理事長が務め、スタッフも参加して、実現を目指しました。
- ② 販売拠点の開発  
店舗、ネット  
学大東口商店街の店舗は、開店 10 周年を迎え、開店 10 周年キャンペーンを実施し、集客を増やして売上に貢献した。

### (3) 地域とのつながり

#### ① 施設公開

- 11月23日に「しいの実祭」を開催した。天気にも恵まれ、地域の方などたくさんのお客様を迎え、参加者1700名以上となり、パンの売上は過去最高となった。
- 地域の学校の職場体験実習、見学、国家公務員の介護等実地体験を受け入れた。

#### ② 情報公開

- 法人広報誌を年2回(4月、10月)各750部発行した。
- 適宜、ホームページを更新し、見学や求職者が参考にするなどの利用が増えた。
- 店舗に掲示物や冊子をおくことによって障害や福祉に関する情報発信を行った。

#### ③ 地域の関係団体との連携

- 目黒区障害者団体「懇話会」の活動や目黒区が主催する障害者団体連絡会に、理事長が参加した。また、理事長が自立支援協議会の委員として活動し、部会メンバーとなるスタッフも増え、他団体との連携を深めた。
- 地域生活支援拠点事業の開設に伴い、相談支援事業所とのかかわりが強くなった。

#### 相談支援利用状況 (ケアマネージャーを含む)

事業所	あいアイ館	たんぽぽ	エール	いんくる	その他	介護	リタリコ	目黒相談支援センター	なし	合計
件数	12	17	9	8	4	1	2	1	4	56

- 見学やモニタリングを通して、理解を深め、関係を強化した。難しいケースに関しては、関係者によるケース会議やサービス利用の手配依頼をした。
- 実習や就労にチャレンジしていますが、就労の実績はありませんでした。就労移行支援の充実は、引き続きの課題である。
- 高齢化により、医療機関との連携を必要とするケースが増えた。

#### ④ 地域との交流

後援会、家族会の活動を活発にした。町会や商店街のつながりを強化するための活動をした。ボランティアの受け入れ、イベントへの参加をした。

- しいの実祭では地域近隣の店舗に出店していただいた。
- 沙羅の家では民生委員の方に夕食づくりのボランティアをしていただいている。
- 沙羅の家の地元町会の祭や行事へ参加している。
- 学芸大学ショップ、区役所販売や公園清掃など地域に出る機会から、しいの実社や社員を知っていただけようにした。

### (4) 高齢化、重度化への取り組み

利用者・家族の高齢化が進んでおり、欠席が増え、入院のケースもあった。

地域の要請に応えるために地域生活支援拠点事業を開始し、実績を積みあげている。

- ① 体調に合わせた通所の仕方や活動の内容の変更を行っている。
- ② 自立支援協議会(高齢・GH部会)への参加や相談支援事業所と連携をしている。
- ③ 入院や慢性的な病気などケースに応じて医療との連携を行っている。

### 《3》事業別事業報告

#### 1. 法人本部

##### (1) スタッフ体制

【事務局長】		1名	事務長代行
【事務課長】		1名	
【事務スタッフ】	(常勤)	1名	
	(パート)	3名	事務、配送、シヨップ
	合計	6名	

##### (2) 会議

- 理事会、評議員会の開催

理事会 3回(5月29日、10月30日、3月5日)

2017年度 決算・事業報告、2019年度予算・事業計画

評議員会 3回(6月19日、11月13日、3月19日)

##### (3) スタッフの状況

- 事務長代行の採用

法人事務局の整備、本格運用を進めた。

- 事務局の設置

法人本部として業務整理、業務分担と権限の明確化を行った。

	しいの実社/本部					沙羅の家					合計				
	前年	入職	異動	退職	現在	前年	入職	異動	退職	現在	前年	入職	異動	退職	現在
正規	16	3	1	1	17	11	6	1	0	18	27	9	2	1	35
契約	1	1	-1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	-1	1	0
パート	19	3	-1	2	19	5	2	-1	1	7	24	5	-2	3	26
合計	36	7	-1	4	36	16	8	0	1	25	52	15	-1	5	61

異動: パート→正規、契約→正規、しいの実社 正規→沙羅の家 正規

##### (4) 活動計画

- 高齢障害者の支援について、区長懇談会に理事長から要望し、自立支援協議の高齢障害者・グループホーム対策部会の部会長を、理事長が務め、沙羅の家清水の、地域生活支援拠点を開設、運営している。
- 法人事業報告会と併せて後援会総会を開催した。(7月8日)

## 2. 沙羅の家

沙羅の家、沙羅の家 向原は利用者の変動はなく、沙羅の家 大岡山は5月に1名、沙羅の家 清水(3ユニット)は上半期に7名、下半期に4名の新規入居者の受け入れを行った(うち2名が年度末時点で退所)。

短期入所は、グループホームの新規受け入れを優先して進めたため下半期からの稼働となり、延べ23名55日間の稼働となった。

地域生活支援拠点は、新規事業として地域や関係機関への啓発活動や研修研究を中心に活動した。

(1) 事業種別 共同生活援助、短期入所、地域生活支援拠点(目黒区)

(2) 共同生活援助利用者 29名

愛の手帳			障害支援区分				年齢				
	男性	女性	合計	区分	男性	女性	合計		男性	女性	合計
2度	10	1	11	2	2	0	2	30~39	3	0	3
3度	10	1	11	3	4	0	4	40~49	14	1	15
4度	7	0	7	4	14	1	15	50~59	7	1	8
				5	5	1	6	60~69	1	0	1
				6	2	0	2	70~	2	0	2
合計	27	2	29	合計	27	2	29	合計	27	2	29

平均年齢 49.2

(3) スタッフ体制

管理者	1名(兼務)
サービス管理責任者	2名(兼務)
世話人(常勤)	10名
生活支援員(常勤)	5名
生活支援員(パート)	6名
地域生活支援コーディネーター(常勤)	1名

(4) ユニット

① 沙羅の家	目黒区南 1-7-15	利用者6名(定員6名)
② 沙羅の家 向原	目黒区目黒本町 6-23-10	利用者7名(定員7名)
③ 沙羅の家 大岡山	目黒区大岡山 1-17-14	利用者7名(定員7名)
④ 沙羅の家 清水 A/女性	目黒区下目黒 6-19-14	利用者2名(定員6名)
⑤ 沙羅の家 清水 B/男性	目黒区下目黒 6-19-14	利用者4名(定員6名)
⑥ 沙羅の家 清水 C/高齢者	目黒区下目黒 6-19-14	利用者3名(定員6名)

## 運営状況

- 祝日(春分の日)を利用して全ユニット合同、総勢 49 名で外出イベント企画(カラオケとボウリング・ホテルでランチバイキング)を行った。
- 利用者と職員と一緒に、南一丁目町会の碑文谷例大祭、目黒原町会の大鳥神社例大祭、きたほん盆踊り大会(大岡山商店会)等の地域のイベントに参加した。
- 東京都障害者通所活動施設職員研修会、全国障害者生活支援研究会等の外部研修会に参加し、積極的に研鑽を積んだ。
- 入居者の多くがしいの実社の利用者のため、しいの実社と連絡帳、電話、ケース会議等により情報を共有した。

### (5) 家族会

- |          |              |               |
|----------|--------------|---------------|
| • 5月23日  | 第1回 合同       | 家族18名、スタッフ16名 |
| • 11月6日  | 第2回 沙羅の家 向原  | 家族6名、スタッフ4名   |
| • 11月7日  | 第2回 沙羅の家     | 家族3名、スタッフ4名   |
| • 11月14日 | 第2回 沙羅の家 大岡山 | 家族5名、スタッフ5名   |
| • 11月13日 | 第2回 沙羅の家 清水  | 家族10名、スタッフ9名  |

### (6) 外出・イベント

- |         |                                |                  |
|---------|--------------------------------|------------------|
| • 誕生日会  | 沙羅の家                           | 7回(ボランティアさん含む)   |
|         | 沙羅の家 向原                        | 7回               |
|         | 沙羅の家 大岡山                       | 7回               |
|         | 沙羅の家 清水                        | 3回               |
| • 外出企画  | 長期休暇時に各ユニットで実施(横浜万葉の湯、増上寺参拝 等) |                  |
|         | 祝日合同バスハイク                      | 利用者28名、スタッフ21名参加 |
| • 防災訓練  | 各2回(ユニットごと)                    |                  |
| • 町会例大祭 | 南一丁目町会(碑文谷例大祭)、目黒原町会(大鳥神社例大祭)  |                  |

### (7) スタッフ会議

- |                   |        |
|-------------------|--------|
| • しゃらミーティング(全体会議) | 1回/月   |
| • 各ユニットミーティング     | 1回/月   |
| • チーフミーティング       | 適宜(3回) |
| • 短期入所可否決定会議      | 8回     |

(8) 安全対策

組織改編に伴い、ひやりはっと・事故報告は沙羅の家で集計を行った。

事業種別	ひやりはっと	事故報告
共同生活援助	20件 〔服薬関係 15件 怪我、その他 6件〕	2件 〔小口現金紛失 1件 小火 1件〕
短期入所	0件	0件
地域生活支援拠点	0件	1件

(9) 沙羅の家 短期入所

①利用実績 体験利用(2か月前申し込み)

	申込人数	利用人数	利用延べ日数
10月	6	5	12
11月	10	3	7
12月	7	3	6
1月	6	5	11
2月	4	4	13
3月	7	3	6
合計	40名	23名	55日

②運営状況

- ・ 下半期から本格的に受け入れを開始し、週平均1名の受け入れを行った。
- ・ グループホームスタッフが兼務するため、過度な負担とならないような勤務体制の構築を図った。

(10) 地域生活支援拠点事業

① 相談件数

	電話	FAX	メール	来所	訪問	その他	合計
上半期	134	2	1	28	14	9	197
下半期	264	2	3	22	31	14	336
合計	398	4	4	50	45	23	533

② 相談者数

	男性	女性	合計
上半期	72	210	283
下半期	128	275	403
合計	200	485	686

③ 相談内容

	緊急 対応	短期 入所	体調	サー ビス	日常 生活	金銭 管理	家族 関係	人間 関係	施設 職場	近隣 関係	その 他
上半期	29	76	18	95	21	0	22	3	9	1	87
下半期	52	57	45	104	95	18	41	2	31	1	157
合計	81	133	63	199	116	18	63	5	40	2	244

④ 運営状況

- 定期的に自立支援協議会相談部会へ参加した。
- 基幹相談支援センター設置検討委員会へ参加した。
- 事業所の啓発を目的に関係施設等の訪問や各種会合等に参加し、広く地域に知られるように努めた。
- 幅広い種類の外部研修に参加し、様々な相談に対応出来るように準備を進めた。
- 通所施設・家族会等への事業案内

上半期	28件
下半期	9件
合計	37件

- 相談支援事業所、包括支援センターへの事業案内

上半期	20件
下半期	0件
合計	20件

他、知的障害者相談員、民生委員と話し合い。

- 見学対応

上半期	19件
下半期	6件
合計	25件

- 研修への参加

上半期	6件
下半期	13件
合計	19件

下半期主な参加研修内容

- 11月30日 地域包括ケアシステムについて
- 1月17日 障害のある方を地域で支えるために
- 1月21日 基幹相談支援センター設置に向けた研修会
- 2月27・28日 引きこもり支援研修
- 3月16日 DV研修
- 3月21日 自殺予防研修



### 3. しいの実社

#### (1) スタッフ体制

##### ➤ しいの実社

【施設長】	1名	(兼務)
【サービス管理責任者】	2名	(兼務)
【業務課長】	1名	
【支援スタッフ】		
◎生活支援員 (常勤)	10名	
(パート)	3名	
◎職業支援員 (常勤)	1名	
◎目標工賃達成指導員(常勤)	1名	
◎スタッフ(補助金対象スタッフ)	2名	
支援スタッフ合計	22名	(常勤換算 15.8名)
【その他スタッフ】		
栄養士	1名	(業務委託 週1回 兼務)
調理員	3名	(業務委託 兼務)
嘱託医	1名	(月2回 兼務)
看護師(非常勤)	1名	(月3回 兼務)

##### ➤ しいの実社 学芸大学スマイルプラザ

【施設長】	1名	(兼務)
【サービス管理責任者】	1名	(兼務)
【業務課長】	1名	
【支援スタッフ】		
◎生活支援員 (パート)	8名	
◎職業支援員 (常勤)	2名	
◎目標工賃達成指導員(常勤)	1名	
◎就労支援員 (常勤)	1名	
支援スタッフ合計	13名	(常勤換算 8.7名)
【その他スタッフ】		
栄養士	1名	(業務委託 週1回 兼務)
調理員	3名	(業務委託 兼務)
嘱託医	1名	(月2回 兼務)
看護師(非常勤)	1名	(月3回 兼務)

## (2) 事業運営

### ➤ しいの実社

高齢化により体調に合わせて通所の日数や時間、作業内容を変更した。

#### - 就労継続支援 B 型事業

##### ① 高齢化や重度化への対応

- 余暇的活動を増やし、無理のない作業量を提供した。

##### ② 生産と支援のバランス

- さんまるしえへの納品や材料仕入を通じて地域に出る機会を創った。
- ホームページにイベントの報告などを掲載し、随時更新し理解拡大を目指した。
- ショップでは社員が店頭に立ち、理解促進を行った。
- 近隣の学校などの見学や実習の受け入れを行った。

#### - 生活介護事業

##### ① 社員の安定した生活を支援した。

- 振り返りなど日々のOJTから障害に対する理解や知識を増やし、将来生活しやすい支援を目指した。
- 必要に応じてマンツーマン対応できる体制を維持した。

##### ② 社員の年齢、特性に合った仕事を提供した。

- 情報・記録の整理は今後の課題として残るが、スタッフの社員個々への理解は進めた。

### ➤ しいの実社 学芸大学スマイルプラザ

利用者が3名増え、作業やスペースの工夫を行い安定して作業を行った。就労移行は、外部実習や企業面接を行ったが、就労実績とならなかった。

#### - 就労継続支援 B 型

##### ①. 日中作業の安定供給

- 新しい作業の開拓により作業は安定供給できた。
- 高齢の社員には、無理のない過ごし方ができるよう活動を行った。

##### ②. 高齢者向けサービスの試行

- 日々のバイタルチェックや看護師との作業により健康を意識する機会をつくった。
- 高齢の社員には塗り絵などや手芸活動などを取り入れた。若い社員とのすみ分けが課題となっている。

#### - 就労移行支援事業

##### (1) 就労に向けた取り組み

- 朝礼時にマナー講座を行い、マナー向上を図った。
- 機会に応じて企業や外部実習を行った。

##### (2) 一般就労の実現

- 面接に積極的に参加したが、一般就労には至ってはいない。
- 一般企業に就労した方は、継続している。

##### (3) 生産維持と社会参加

•パン生産の工夫を行い、社会参加できる時間の捻出が課題となる。

(3) 仕事の提供

表 1 就労支援種目

就労支援種目	内容	事業
フードファクトリー	・ 製菓(クッキー、マドレーヌ) ・ 製パン(天然酵母)	生活介護 就労継続 B 型、就労移行
クラフトスタジオ	・ 紙すき、押し花 ・ 石膏、ビーズの小物、アクセサリー等	生活介護
織物工房	・ 手織り製品 ・ 染色製品、アクセサリー等	生活介護
受託作業	・ ネジ袋詰め ・ 宅配すし屋 箸詰	就労継続 B 型
モービルワーク	・ 公園清掃(目黒区) ・ 製品の販売、配達	就労継続 B 型 就労移行

(4) 活動報告

1. 年間行事

① 研修旅行

社員日帰り研修旅行

実施日	9月21日(金)
実施場所	柴又
参加者	利用者 4名 スタッフ 2名 実習生 1名 看護師 1名 合計 7名

社員宿泊研修旅行

実施日	9月6日(木)-7日(金)
実施場所	伊香保温泉
参加者	利用者 50名 スタッフ 27名 ボランティア 1名 実習生 2名 合計 79名
費用	1,713,116円
	80万円は後援会からの寄付、残りはしいの実社の支出で、個人負担はなし

② しいの実祭

実施日	11月23日(金・祝) 10:00~14:30	
実施場所	しいの実社と周辺(平研磨、五十嵐電機、白川電機、STUDIO iiwi(イーヴィ))	
参加者 (名)	1,550	参加者
	220	社員、スタッフ、ボランティア
	1,770	合計
売上(円)	913,835	しいの実社
	649,435	後援会
	1,563,270	合計
費用(円)	333,338	宣伝、レンタル、装飾物品、弁当、イベント謝礼など
内容	製品販売、模擬店、バザー、音楽演奏、他施設販売(7施設)、スタンプラリー	
	焼きそば、はワークイン翔、フランクは清水町会、天ぷら川さきに依頼。	
	バザー・豚汁は後援会が実施。	

			2018	2017	2016	2015	前年比	
しいの実社	製菓	売	148,920	157,880	157,140	158,360	94.3%	
	製パン	売	229,180	208,680	227,160	203,960	109.8%	
	クラフト	売	102,470	98,480	102,950	111,740	104.1%	
	織物	売	366,800	377,300	354,110	457,150	97.2%	
	食堂	売	64,210	66,390	60,160	60,760	96.7%	
	ゲーム/わたあめ	売	2,255	3,400	2,450	2,450	66.3%	
	小計		913,835	912,130	903,970	994,420	100.2%	
後援会	バザー	売	195,485	174,930	143,290	158,055	111.8%	
	内訳	バザー/衣類	売	62,050	76,410	68,000	98,340	81.2%
		バザー/雑貨	売	87,865	58,240	43,690	18,865	150.9%
		バザー/食器	売	28,870	29,830	21,600	29,350	96.8%
		お菓子釣り	売	16,700	10,450	10,000	11,500	159.8%
	豚汁、おにぎり	売	53,800	49,500	40,300	29,700	108.7%	
	チョコバナナ	売	23,250	22,050	22,000	19,640	105.4%	
	天ぷら 川さき	寄	40,000	40,000	40,000	40,000	100.0%	
	東京ガーデン 花鉢	売	27,900	21,300	17,300	10,400	131.0%	
	いなり寿司	売	20,000					
	とまと梅	売	30,000					
	焼きそば(、フランク)	参	80,000	80,000	5,000	45,000	100.0%	
	協賛金	寄	182,000	186,000	154,000	151,000	97.8%	
	小計		652,435	584,180	421,890	453,795	111.7%	
売上合計			1,566,270	1,496,310	1,325,860	1,448,215	104.7%	
	推定入場者		1,365	1,317	1,230	1,365	103.6%	
	社員、スタッフ、ボラ		220	197	190	167	111.7%	
参加者数			1,770	1,660	1,550	1,630	106.6%	

## 2. 会議

1回 / 月	幹部会	理事、施設長、主任、
1回 / 月	運営会議	
14回 / 年	ケース会議(個別支援計画会議、緊急ケース会議)	
1回 / 月	部門別会議	
随時	係別会議	

ケース会議は、個別支援計画作成のほかに、困難ケースの場合は相談支援事業者、障害福祉課などの関係者会議も交えて関係者ケース会議を行った。

## 3. 研修

- 年度末に法人全体半日研修 虐待防止研修を1回行った。
- 外部研修に延べ人数13名が参加。

研修内容	出席者数	備考
初任者研修(キャリアパス)	1	
スタートアップ研修	1	
サービス報酬改定	1	
新任職員研修	3	1泊含む、3回
チームリーダー研修(キャリアパス)	1	
管理職研修(キャリアパス)	1	
強度行動障害基礎研修	1	
就労定着支援研修	1	
虐待防止講演会	1	
サービス管理責任者研修	2	

- 1年目のスタッフ対象の内部研修を5回実施している。

## 4. 実習、体験、見学

利用者	人数	内容	見学・体験場所	所属
他施設職員	1	見学	しいの実社	障害通所施設
親の会	9	見学	しいの実社スマイルプラザ	特別支援学校
親・ご本人	1	見学	しいの実社スマイルプラザ	障害通所施設
親	1	見学	しいの実社スマイルプラザ	特別支援学校
人事部	3	見学	しいの実社	丸紅
社会貢献室	2	見学	しいの実社	豊田通商
小売業	1	見学	しいの実社	自社小売業者
求職者	1	見学	しいの実社	なし
合計	48			

## 5. 防災・安全計画

避難訓練回数 2回 (9月、3月)

- 備蓄品・消火設備の確認と見直し。
- 避難手順の確認。

6. 家族会の開催状況

5回開催 (4月、7月、10月、1月、3月)

7. 事故報告、ひやりはっと

		2018年度	2017年度	主な出来事
事故報告	支援	8	3	抜薬・他害
	作業	1	2	転倒・けが・車両トラブル
	その他	0	3	工賃間違え・交通事故・火災未遂・異物混入
	合計	9	8	
ひやりはっと	社員	37	59	転倒・けが・他害
	支援	9	60	物品管理(金銭・器具)抜薬・その他
	合計	46	119	
クレーム	車両		1	頭髪 異物混入
	シヨップ	1		
	製品	2		
	合計	3	1	
クレームひやり	シヨップ	1	0	接客態度
	製品	3		袋に穴、異物、商品が硬い
	注文	1		注文確認ミス
	合計	5	0	

- 第三者委員で構成される苦情解決機構への苦情受付はなかった、
- 家族から、虐待の疑いの申し出があり、目黒区障害者虐待防止センターに通報し、取り組んだ。

(5) 利用者の状況 2018年度在籍利用者 56名

① 出勤状況 (表2)

(月 - 金)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出勤日数	20	21	21	21	20	18	22	21	19	19	19	19	240
利用者数	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	672
総出勤人数	1064	1085	1101	1110	1031	958	1141	1103	990	1008	995	1002	12588
平均出勤数	53.2	51.7	52.4	52.9	51.6	53.2	51.9	52.5	52.1	53.1	52.4	52.7	52.5
出席率%	95.0	92.3	93.6	94.4	92.1	95.0	92.6	93.8	93.0	94.7	93.5	94.2	93.7

土曜日開所含む

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出勤日数	21	22	22	22	21	19	23	21	20	20	20	20	251
利用者数	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	672
総出勤人数	1089	1112	1130	1141	1053	977	1165	1103	1020	1033	1020	1030	12873
平均出勤数	51.9	50.5	51.4	51.9	50.1	51.4	50.7	52.5	51.0	51.7	51.0	51.5	51.3
出席率%	92.6	90.3	91.7	92.6	89.5	91.8	90.5	93.8	91.1	92.2	91.1	92.0	91.6

		出勤日数	総出勤人数	平均人数	出勤率
2018年度	月-金	240	12,588	52.5	93.7%
	土曜含む	251	12,873	51.3	91.6%
2017年度	月-金	240	12,769	53.2	90.1%
	土曜含む	251	13,061	52.0	88.2%
2016年度	月-金	240	12,216	50.9	90.9%
	土曜含む	251	12,535	49.9	89.2%

② 愛の手帳 (表3)

	しいの実社						しいの実社 学芸大学スマイルプラザ						しいの実社全体		
	生活介護			就労継続支援B型			就労継続支援B型			就労移行支援					
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
2度	10	3	13	1	1	2	2	4	6	0	0	0	13	8	21
3度	7	3	10	6	1	7	5	3	8	3	0	3	21	7	28
4度	1	0	1	2	0	2	3	0	3	1	0	1	7	0	7
合計	18	6	24	9	2	11	10	7	17	4	0	4	41	15	56

③ 障害支援区分(障害者総合支援法) (表4)

区分	しいの実社						しいの実社 学芸大学スマイルプラザ						しいの実社全体		
	生活介護			就労継続支援B型			就労継続支援B型			就労移行支援					
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	2	3	0	3
3	0	0	0	4	0	4	1	4	5	2	0	2	7	4	11
4	12	4	16	2	1	3	6	2	8	0	0	0	20	7	27
5	4	2	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	3	7
6	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
合計	18	6	24	6	2	8	8	6	14	4	0	4	36	14	50

④ 年齢別 (表5)

年齢	しいの実社						しいの実社 学芸大学スマイルプラザ						しいの実社全体		
	生活介護			就労継続支援B			就労継続支援B			就労移行支援					
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
18~19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	3	0	3
20~29	1	1	2	2	1	3	2	5	7	1	0	1	6	7	13
30~39	6	1	7	2	1	3	3	1	4	0	0	0	11	3	14
40~49	10	3	13	3	0	3	2	0	2	0	0	0	15	3	18
50~59	1	1	2	2	0	2	1	0	1	0	0	0	4	1	5
60~69	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
70~	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1	1	2
合計	18	6	24	9	2	11	10	7	17	4	0	4	41	15	56

## (6) 利用者工賃、売上

## ① しいの実社 売上 (表 6)

2018年度 売上 (千円単位)

就労支援事業種目		予算	実績	達成率(%)	前年実績	前年比(%)
フードファ クトリー	製菓	4,100	4,314	105.2	3,821	112.9
	製パン	23,000	22,944	99.8	24,485	93.7
ハンド メイド	クラフト	800	712	89.0	747	95.3
	織物	1,700	1,942	114.2	1,553	125.0
受託		880	755	85.8	884	85.4
モービルワーク		400	403	100.8	268	150.6
飲料		280	250	89.3	263	94.9
合計		31,160	31,320	100.5	32,022	97.8

## ② 定期販売実績(表 7)

ショップ	しいの実社			学芸大学店			さんまるしえ		
	営業日	売上	日平均	営業日	売上	日平均	営業日	売上	日平均
2018年	236	4,996,976	21,174	236	14,290,620	60,553	306	3,137,860	10,254
2017年	234	5,143,580	21,981	234	15,671,640	66,973	282	2,997,340	10,629
2016年	224	6,028,806	26,914	224	18,592,310	83,001	302	3,440,260	11,392
増減	2	-146,604	-807	2	-1,381,020	-6,419	24	140,520	-374

	イベント/施設外販売			区役所販売		
	回数	売上	平均	回数	売上	平均
2018年	36	2,891,453	80,318	23	1,000,020	43,479
2017年	30	1,470,440	49,015	24	1,125,130	46,880
2016年	25	1,194,285	47,771	23	1,124,485	48,891

## ③ 利用者工賃 (表 8)

	社員給料 (賞与含む)	交通費	合計	一人当たり	
				年額	月額
2018年度	15,798,170	1,331,500	17,129,670	305,887	25,491
2017年度	16,191,870	1,386,110	17,577,980	313,893	26,158
2016年度	15,861,270	1,328,540	17,189,810	306,961	25,580

	売上	前年比	工賃合計	工賃月額 /社員	前年比
2018年度	31,320	0.1%	17,129,670	25,491	97.5%
2017年度	32,094,531	88.0%	17,577,980	26,158	102.3%
2016年度	36,454,138	92.3%	17,189,810	25,580	94.9%



(7) 就労支援事業各仕事場報告

(1) フードファクトリー

部門名 : 製菓

重点課題(事業計画)

<社員の支援について>

- ・日々の体調や体力に応じて、無理のない作業量を提供していく。
- ・運動を兼ねて、さんまるしえに納品に行く。

<就労支援事業について>

- ・季節によって、製造量を調整する。(賞味期限の調整も含める)
- ・部門の運営や流れについて、1年を通して身に付ける。

取組み結果

<社員の支援について>

- ・体調を崩す人が目につき、年齢に関係している。
- ・一年を通して注文や販売に追われ、作業量が増えた。
- ・スタッフが確保できず、納品の外出ができなかった。

<就労支援事業について>

- ・生産が追い付かないことはあったが、概ね製造量の調整ができた。
- ・作業の流れや季節ごとの製造量が、ある程度分かった。
- ・スタッフの産休があったが、新スタッフで乗り切った。

部門名 : 製パン

重点課題(事業計画)

<社員の支援について>

(本町)

「支援対応、作業準備の手順書・マニュアル作り」

- ・それぞれの社員対応に関して、1週間の支援手順書を作る。
- ・毎日の作業準備に関しても、スタッフが引き継げるマニュアルを作っていく。

「重度の方が時間帯等に縛られずに作れる製品の開拓」

- ・時間や手先の器用さ等も制限が少なく、だれでも作業ができる商品の開発。

(スマイル)

「新入社員への対応の変化」

- ・環境に慣れ、自己主張もあるので、もう少し支援する必要がある。

「社会的基礎知識、マナーを身につける」

- ・若手社員は、作業表や社会人のマナー表を作り、朝礼で確認する。
- ・人との関わりも、丁寧に対応していく。

<就労支援事業について>

(本町)

「商品構成の再検討」

- ・季節商品以外に、四半期毎に、商品構成を見直す。

・現在の商品のアレンジ等も含めて、新商品を提案できる様にする。

(スマイル)

・品質と支援の両立

品質を維持できるよう、種類や数で調整する。

#### 取組み結果

<社員の支援について>

(本町)

「支援対応、作業準備の手順書・マニュアル作り」

・社員対応は支援方法を状態に合わせてすることが多く、手順書に至らなかった。

・マニュアル作りはできなかった。

・今後も工程・製法の工夫を進めていく予定。

(スマイル)

「新入社員への対応の変化」

・全員週1回学大ショップに行き、1名は週1回公園清掃に行った。

・声掛けにより、自分の仕事を意識するようになっている。

「社会的基礎知識、マナーを身につける」

・朝礼時にビジネスマナーの教材を読み聞かせている。

・就労移行と継続Bの共存が課題となる。

<就労支援事業について>

(本町)

「商品構成の再検討」

・試作品が、いくつか開発できた。

・新商品の投入に併せて、価格等も含め、全体の見直しが今後の課題。

(スマイル)

「品質と支援の両立」

・スタッフが手薄の時、種類と数を調整して、支援や商品に支障がないようにした。

部門名 : 織物

#### 重点課題(事業計画)

<社員の支援について>

・落ち着いて作業に取り組める環境を整え、状態に合った作業の提供を行う。

・作業の後継者を育成し、マフラーから他の作業の変更を行っていく。

・定期的に納品や外出企画を行い、社会参加の機会を持つ。

<就労支援事業について>

・在庫保存方法を見直し、在庫管理をしやすくする。

・ショップやさんまるしえなどに定期的に納品し、品ぞろえを確認、売上向上を目指す。

#### 取組み結果

<社員の支援について>

・座席や作業の仕方を変更して、状態に合った環境を提供していくことができた。

- ・様々な作業の提供により、作業種の幅が広がっている。特殊織の後継者を育成中。
- ・スタッフ間の統一した支援が社員の安定につながるため、情報共有を欠かさず行った。

<就労支援事業について>

- ・商品を年度ごとに保管するなど管理しやすいように工夫している。
- ・ショップ、さんまるしえへの定期的な納品は行えていない。
- ・KURUMIRU への納品は毎月行い、安定した売り上げがある。

部門名 : クラフト

重点課題(事業計画)

<社員の支援について>

- ・作業の手順や工程を見直し、できなかった社員も提供できるようにする。  
手書き部分をスタンプやラベル等導入する。

作業を細分化し、部分的に携われるようにするなど。

- ・ショップ等への定期的な納品や外出を行い、社会参加の機会を持つ。  
買い出しや外出レクなどの企画を行う。

<就労支援事業について>

- ・各種ショップへの納品を積極的に行い、製品の充実化を図る。  
売れ筋の布製品を中心に、納品を行う。  
在庫の入れ替えを行い、売上向上を目指す。
- ・季節物の製品のバリエーションを増やす。

取組み結果

<社員の支援について>

- ・ステンシルの作業を取り入れ、自ら希望する社員がいた。
- ・スタッフ休暇の際、別のスタッフのヘルプにより、混乱を起こさずにできた。
- ・スタッフの仲介により、社員同士の会話を増やしたが、助け合いまでは至ってない。
- ・年齢を考慮し、立ち仕事の時間を減らすことができた。

<就労支援事業について>

- ・お客様の声を聞き、できる時は対応した商品を作っていく。
- ・新商品をショップに並べることができ、今後も継続していく。

部門名 : 受託

重点課題(事業計画)

<社員の支援について>

- ・高齢化対策

日中の過ごし方(作業の提供の仕方。作業以外の活動の模索)

介護保険施設との連携

看護師による健康診断(バイタル測定、健康相談)。

- ・高齢社員と若年社員との作業のかかわり方のすみわけ

高齢社員と若年社員の作業の見直し。

若年社員の仕事の幅を広げ、高齢社員の作業、支援の変更を検討。

<就労支援事業について>

- ・スタッフの点検作業の負担軽減(ボランティア導入など)

- ・銀のさら資材受け取り時期を見直し、在庫がなく作れない状況をなくす。

- ・年齢や体力に合った作業量の提供。

取組み結果

<社員の支援について>

- ・高齢社員に好きな色など聞き取りながら、余暇作業へ繋げられるよう進めた。

- ・外出企画は本人たちの意見を聞きながら企画できた。

- ・利用している高齢施設、他機関と定期的に情報共有している。

- ・看護師との会話を楽しみながらバイタルチェックを行い、毎日の実施は定着した。

<就労支援事業について>

- ・週に1度の定期ボランティア導入。

- ・銀のさら、マッターホーンとも、在庫表や資材受取時期を見直し、作業できている。

部門名 : モービル

重点課題(事業計画)

<社員の支援について>

- ・清掃活動を通じて、社員同士が協力し、かかわりながら取り組める配慮する。

- ・清掃の技術の向上に努める。

<就労支援事業について>

- ・年間清掃回数を年度前に決め、悪天候の場合を考慮する。

取組み結果

<社員の支援について>

- ・各自が得意なことを率先して行えるようになった。

- ・夏場は水分補給の回数を増やし、冬場は防寒対策をして対応をしている。

- ・隣接道路や壁際のゴミを外に掃き出して集められるようになり、幅が広がった。

<就労支援事業について>

- ・悪天候の場合はスタッフと社員2名で軽自動車を使い短時間の清掃を行った。

## (8)係報告

### ① ランチ・健康

#### 実施内容の概要について

(健康)

##### <社員の支援について>

- ・嘱託医の健康相談により、日中活動に生かすとともに、家庭へ報告をする。
- ・年2回の健康診断により、社員の健康状態を把握する。
- ・健康体操の実施により、社員の健康の増進を図る。

##### <実施内容、取組みについて>

- ・医師による健康相談(毎月第2・3木曜日)
- ・希望者に対してインフルエンザの予防接種

(ランチ)

##### <社員の支援について>

- ・苦手な食べ物の対応について検討する。
- ・高齢者向けのメニューの提案。
- ・嗜好調査を行う。

#### 取り組み結果

(健康)

- ・健康相談、健康診断、健康体操、インフルエンザの予防接種は実施した。
- ・健康体操の参加に慣れており、体を動かす機会となっている。

(ランチ)

- ・非常食を取り入れたランチメニューの実施。
- ・苦手な食べ物は、変更可能な場合は調理方法を変えている。
- ・量や刻み食の対応など個別に対応を行っている。

### ① 土曜開所

#### 実施内容の概要について

##### <社員の支援について>

- ・経験を重ね、自己決定(食事メニューの選択など)を学ぶ。
- ・集団行動でのマナーを身につける(待つ、順番、その場に合った行動など)。

##### <実施内容、取組みについて>

- ・社員の安全を最優先し、必要なスタッフ、ボランティアを配置する。
- ・施設外活動を行うことで、移動時のスタッフの支援技術向上をはかる。

#### 取り組み結果

##### <社員の支援について>

- ・各階へ参加者を分けたことにより、映画を楽しめる方が増えた。
- ・参加に慣れてきており、参加者の楽しみのひとつとなっている。

##### <実施内容、取組みについて>

- ・事故なく参加者は概ね落ち着いて参加できている。

日付	参加数	内容
4月21日	27	映画、食事
5月19日	27	映画、食事
6月16日	29	映画、食事
7月21日	32	映画、食事
8月18日	22	映画、食事
9月29日	20	映画、食事
10月27日	23	映画、食事
12月15日	21	音楽会、夕食(楽園菜館)
1月26日	26	映画、食事
2月16日	25	映画、食事
3月17日	28	映画、食事
合計	280	
平均参加数	25.5	

	回数	参加数	平均参加数	平均参加率
2018年度	11	280	25.5	48.1%
2017年度	11	294	26.7	50.4%
2016年度	11	296	26.9	50.8%

## ② ボランティア

### <実施内容について>

- ・部門運営の円滑化(作業効率・安全性の向上)。
- ・施設外活動(余暇・販売等)の補助。
- ・地域交流の窓口としての役割の期待。
- ・ボランティア受け入れ(オリエンテーション)の分かりやすいマニュアル作成。
  - ① 保険加入、活動に必要な費用の準備(交通費・食事または謝礼)
  - ② 依頼内容の正確な伝達(必要に応じて書面やメールで行う)
  - ③ 活動中のボランティアへの適切な助言・支援(見通し、利用者についてなど)
  - ④ アフターケア(振り返り・活動後のアンケート)

### <取組結果について>

- ・名簿整備:係担当以外でも連絡が取れ、フォローできる仕組みづくり
- ・ボランティア保険の迅速な加入
- ・定期ボランティアの増加

#### ④研修

実施内容について(重点課題)	
外部研修	常勤スタッフは、年 1 回以上受講。受講者による伝達講習全体研修
法人全体研修	年 3 回予定。全スタッフ
自己研鑽	資格取得を奨励
取組み結果について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の受講内容の精査をおこなった。</li> <li>・外部研修はキャリアパス要件の研修に重点的に参加し、全体研修は 1 回実施した。</li> <li>・ケース検討は他事業との連携をしたケースを開催</li> <li>・自己研鑽 2 名がサービス管理責任者を取得</li> </ul>	

#### ⑤イベント販売

<社員の支援について>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・接客などを通して、地域の方の理解を引き続き、深める。</li> <li>・地域に根ざしたいの実社となるよう、地道にイベント販売に参加し、地域定着を図る。</li> </ul>	
<実施内容、取組みについて>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に出店し、地域密着した施設を目指す。</li> </ul>	
取組み結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度 25 回を大きく上回る 32 回実施し、しいの実社の知名度が上がってきている。</li> <li>・社員や後援会、スタッフが継続して参加することにより、地域の方に理解を深められた。</li> <li>・マリクレール、女神祭は、再度参加することとなった。</li> <li>・社員ご家族からの紹介等により、新しい販売先にも出店した。</li> </ul>	
⇒AON(エーオン), ハンドメイトメイカーズ	

#### イベント販売推移

	2018			2017			増減		
	回数	売上	平均	回数	売上	平均	回数	売上	平均
イベント販売	36	2,891,453	80,318	30	1,470,440	49,015	6	1,421,013	31,303
区役所販売	23	1,000,020	43,479	24	1,125,130	46,880	-1	-125,110	-3,401
さんまるしえ	12	3,137,860	261,488	12	2,997,340	249,778	0	140,520	11,710

\*さんまるしえの回数は月数

#### ⑥車両管理

実施内容について(重点課題)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行記録を管理する。</li> </ul>	
取組み結果について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行記録を継続して管理した。</li> </ul>	

